

安全・安心なまちを目指して

問 市 防災危機管理課

☎ 531-5161

☎ 531-5149

交通事故防止のため、市内では米原交通安全協会や、米原安全運転管理者協会が中心となって啓発活動に取り組んでいます。

現在、市内の交通事故発生件数は、減少傾向にありますが、依然事故は起きています。特に、高齢者による事故が多く、今後も注意が必要です。

交通事故の防止には、運転者、歩行者などが普段から交通ルールやマナーを意識した行動を心掛けることが大切です。市民一人の行動で市内事故ゼロを目指しましょう。

今回、秋の全国交通安全運動を前に、市内の事故状況や、市内で啓発活動に取り組む人たちを紹介し

地域の皆さんと共に

米原交通安全協会は、市内で交通事故のない安全・安心な交通社会の実現を目指して、子どもの通学路立ち番、街頭啓発などの交通安全活動を行っている団体です。その活動の一つは、会員の皆さまからの運転免許証更新時にご協力いただく会費協賛金で支えられています。

活動中に感じることは、歩行者がいても横断歩道前で一時停止をしない運転手が多いということです。横断歩道は歩行者が優先されます。ぜひ、余裕をもった運転を心掛け、「横断歩道利用者ファースト」を実践してください。

今後も、交通事故のない安全・安心な米原を目標に、警察や各関係機関そして、地域の皆さんと共に、各種対策や啓発活動などの取り組みを強化していきます。

米原交通安全協会



米原交通安全協会会長
木村幸太郎さん



平成26年～27年
米原交通安全協会
老人部長

平成28年
米原交通安全協会
会長就任
(公財)滋賀県交通安全協会
理事

米原安全運転管理者協会



米原安全運転管理者協会 会長
奥村善彦さん



平成21年～22年
米原安全運転管理者協会
副会長

平成23年
米原安全運転管理者協会
会長就任
(一社)滋賀県安全運転管理者協会
理事就任

まずは自分の職場から

安全運転管理者協会は、事業活動のために、自動車を設置している事業所で、選任された安全運転管理者が交通事故防止活動に取り組めるよう各種事業を行っています。

全国では業務にかかわる交通事故が多発しており、企業努力で防げた事故も少なくないように感じています。

協会では、こうした事故を無くすため、交通安全啓発活動など、関係機関団体との連携なしでは対応が難しい交通安全対策を進めています。

米原警察署管内の80事業所が丸となり社会的責任の重要性を強く認識して行動することで、まずは自分の職場から事故を無くすこと、そして、個々の地道な努力によりいずれば、米原市、滋賀県内、全国の事故撲滅を目指していきます。



米原警察署からのメッセージ

米原市内の交通事故につきましては、市民の皆様の高い交通安全意識により事故件数は減少傾向にあります。

市内の交通事故は、**追突事故と高齢者による事故の割合が多い特徴**がありますので、運転する時は安全確認を怠らず、しっかりと前を見て「全集中の運転」をお願いします。

これからの季節は日没時間が早くなります。

ドライバーは**早めのライト点灯**、歩行者は**反射材を身につけ**、特に秋の全国交通安全運動期間中は、市民の皆様がワンチームとなって「交通事故ゼロ米原市」を目指していきましょう。



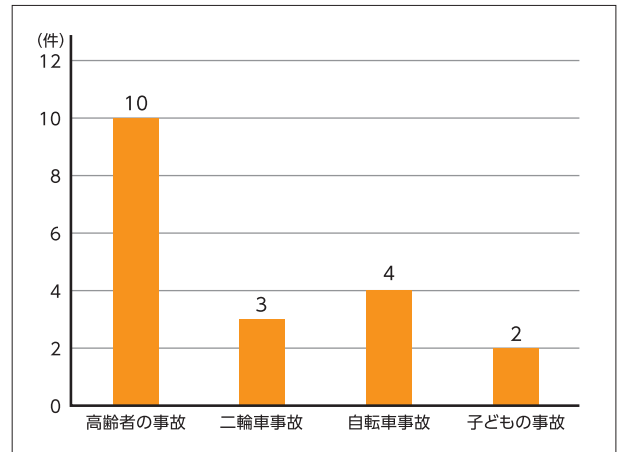
米原警察署 署長
吉田隆史さん

令和3年1月～7月 米原市内の交通事故(人身)発生状況

事故発生件数 26件 (前年比-19件) ▼

負傷者数 24人 (前年比-21人) ▼

死者数 2人 (前年比+ 2人) ▲



秋の全国交通安全運動

9月30日(木)は「交通事故死ゼロ」を目指す日です

9月21日(火)～30日(木)の10日間は、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進し、交通事故防止を徹底する期間です。

- 子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
- 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
- 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
- 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
- 横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県重点)

